

市民1人当りに使われるお金

34万9,561円〔3月末日現在の人口 67,456人〕

| | | | |
|---|--|--|--|
| 民生費 13万6,059円  | 土木費 5万553円  | 教育費 4万1,245円  | 公債費 3万9,028円  |
| 総務費 3万5,999円  | 衛生費 2万2,238円  | 消防費 1万2,316円  | その他 1万2,123円  |

一般会計歳出性質別内訳表

(単位：%)

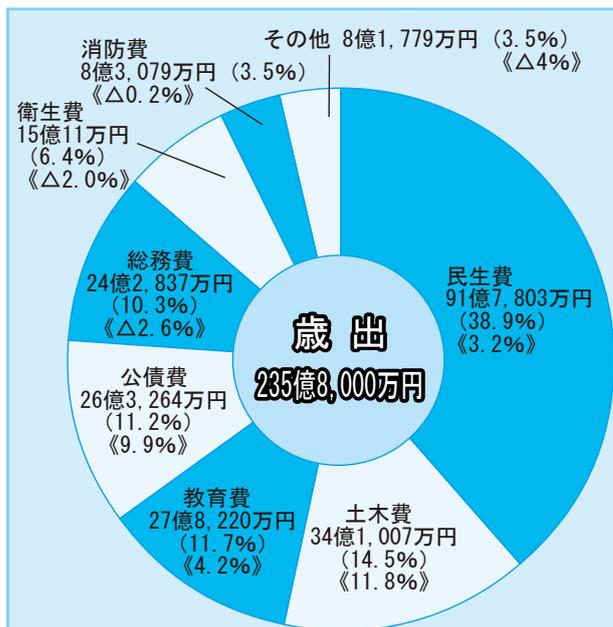
| 区分 | 当初予算額 | 構成比 | 対前年度比 |
|---------|-------------|-------|-------|
| 人件費 | 57億2,417万円 | 24.3 | 1.6 |
| 扶助費 | 50億7,775万円 | 21.5 | 6.1 |
| 公債費 | 26億3,338万円 | 11.2 | 9.9 |
| 普通建設事業費 | 14億7,220万円 | 6.2 | 43.7 |
| 災害復旧事業費 | 2,051万円 | 0.1 | △10.1 |
| 物件費 | 31億4,324万円 | 13.3 | △1.0 |
| 維持補修費 | 2億455万円 | 0.9 | △11.3 |
| 補助費等 | 39億7,132万円 | 16.8 | △4.6 |
| 積立金 | 359万円 | 0.0 | △75.1 |
| 貸付金 | 990万円 | 0.0 | 0.0 |
| 繰出金 | 13億939万円 | 5.7 | 4.4 |
| 予備費 | 1,000万円 | 0.0 | 0.0 |
| 合計 | 235億8,000万円 | 100.0 | 3.8 |

歳出

歳出について行政目的別にみると、社会保障関係費の増加により民生費が2億8,000万円(3.2%)増加しています。また、街路事業や河川改修事業などの増加により土木費が3億6,000万円(11.8%)増加しています。

経費の性質別にみると、退職者の増加などにより人件費が9,000万円(1.6%)増加、第三セクター等改革推進債の元利償還金の増加などにより公債費が2億4,000万円(9.9%)増加、街路や小学校などの建設事業の増加により普通建設事業費が4億5,000万円(43.7%)増加しています。

人件費、扶助費、公債費といった、市の支出が義務付けられている経費(義務的経費)は134億4,000万円で、歳出全体の57%となります。



一般会計予算額

平成25年度の予算の概要については、市ホームページにも公表しています。

- ▼ **歳入**
 - 市税 市民税や固定資産税、都市計画税など市に納められる税金
 - 地方交付税 全国で一定水準の行政サービスを確保するため、市町村の財政力に応じて国から交付されるお金
 - 国庫支出金、県支出金 市が行う特定の事業に対して国や県から交付されるお金
 - 市債 建設事業などの財源として国や金融機関から借りるお金。将来にわたって償還していく
- ▼ **歳出**
 - 民生費 高齢者や障害者などを対象とした福祉事業にかかるお金
 - 土木費 道路、公園、河川などの整備にかかるお金
 - 教育費 小・中学校、幼稚園、公民館などの整備や運営にかかるお金
 - 公債費 過去の建設事業等の財源として発行した市債の償還にかかるお金
 - 総務費 市の全般的な事務、庁舎管理、選挙、統計などにかかるお金
 - 衛生費 予防接種や各種検診、ごみ処理などにかかるお金
 - 消防費 消防や災害対策にかかるお金

用語解説